※令和４年度以降入学生用

学校番号	317

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「文学国語」　（大修館出版）						
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・将来、社会人として必要となる語彙の定着を目指します。
・様々な文章を「読む力」を向上させ、意思伝達のための「書く力」「話す力」を身につけることを目指します。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本語・日本文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」、の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・自然や身近なできごとを描いた文章に触れ、文学に親しむ。 ・想像したり共感したりしながら、自分自身の生き方を見つめる。 ［教材］ 飛ぶことを知っている魂	a:・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:・文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 c:・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして、自分の生き方について考えを深めている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・自分の体験や、その体験をとおして感じたことを伝える。 ［教材］ ［書く］体験に基づいて書く	a:情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]:文学的な文章を書くために、選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にしている。 c:自分が文章を通じて伝えたいことを明確にしたうえで、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 観察
	構成や表現の効果に着目しながら、寓意的な表現に込められた主題を読み取る。 ［教材］ 山椒魚	a:・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:作品の構成や表現に興味をもち、寓意的な意味をとらえようとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	朗読によって詩のリズムや響きを味わう。 表現の特色や効果について理解する。 ［教材］ 竹	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
2学期	舞台設定や時代背景を味わいながら読む。 人物描写や表現効果に着目しながら主題を考える。 ［教材］ 美神	a:言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]:文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 c：舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしている。			
	登場人物の心情理解をとおして、自己の生き方や他者とのかかわりを学ぶ。 本格的な小説を読み味わうことで、読解に必要な総合的な力をつける。 ［教材］ こころ	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]・：文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物の境遇や、それぞれの人物関係をおさえ、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	詩の形式やリズムを味わう。 韻文の表現や効果について理解を深める。 ［教材］ 小景異情	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
3学期	短歌の形式やリズムを味わう。 韻文の表現や効果について理解を深める。 ［教材］ 短歌	a文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：・語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について評価することをとおして、内容を解釈している。 作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：・韻文の表現や効果について理解を深め、作品の魅力を読み味わおうとしている。	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。 ［教材］ 創作短歌	a：情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な短歌になるよう工夫している。 c：自分が文章を通じて伝えたいことを明確にしたうえで、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 観察
	寓意を読み取り、主題について考察する。 日常生活や時代背景を踏まえて解釈する。	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ アルプスの少女	・文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使うこと ［b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉えるとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：舞台設定や時代背景をおさえ、作品の主題について考えを深めようとしている。	ノート	ノート	
	心情を伝えるために言葉を選び、表現を工夫する。表現の特色や効果について理解する。 ［教材］ 物語の続きを創作しよう	a：情感の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な物語になるよう工夫している。 c：自分が文章を通じて伝えたいことを明確にしたうえで、情感の豊かさや心情の機微を表す語句を用いて表現しようとしている。	ワークシート 観察	ワークシート 観察	ワークシート 観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　10　）時間

・読むこと　…　（　60　）時間